

第5期 令和3(2021)年度 新宿区多文化共生まちづくり会議 第3回 第2部会 議事概要

日 時 2021年8月25日（水）10:00～12:00

場 所 しんじゅく多文化共生プラザ

出席委員 稲葉委員、長谷部委員、岡田委員、申委員、奥田委員、センブ委員、鈴木委員、金（朋）委員、
陳委員、原田委員、山口委員、守重委員、伊藤委員、國谷委員、内田委員 15名

欠席委員 金子委員 1名

1 開会

2 議事

(1) 前回までの進捗について

事務局から報告があった。

(2) 外国人コミュニティについて

事務局から区の外国人の現状について報告を受けた。その後、外国人コミュニティに所属する委員から、コミュニティの活動内容や母国の地域の状況、日本での地域の繋がりについて感じることなどの報告を受け、質疑応答を行った。併せて委員から意見が出された。

- ・日本では、子育て中の親同士の関係から、子育て後は母国の料理を紹介することなどを通じて地域の繋がりができた。日本人の知り合いを作るためには自分からあいさつすることが大事。
- ・私の所属しているコミュニティでは、勉強会や母国の文化や料理紹介などのイベント、悩み相談、日本語の勉強会などをやっている。
- ・母国では、お寺のお祭りにみんなが集まったり、結婚式やお葬式では、みんなで助け合って料理を作ったりする。
- ・母国では町会はないが、例えば掃除などは自分の家だけでなく周りもやっている。
- ・繋がりは地域によって違う。田舎は時間もあるから都会より繋がりが強いと思う。
- ・私は複数の団体に所属している。日本人と共に運営しているコミュニティは、日本社会に貢献できる人材育成、母国との懸け橋、日本との友好関係への貢献を目的として活動している。
- ・大人には日本語、子どもには母国語の教室を開催し、相談に応じたり、履歴書や問診票、在留資格更新の書類作成を助けたりしている。
- ・母国では、地域のリーダーを入れて早朝ランニングや太極拳教室を開催し交流したり、お祭りに料理を持ち寄って子どもにプレゼントしたり、住民が協力して予算を取りマーケットを造ったりした。結婚式には地域の人がみんな来る。
- ・日本では、教育システムや宿題など子どもの問題、お墓のことが課題。仕事探しやコロナワクチンの接種なども課題で、コミュニティが支援している。

- ・これからは、外国人と日本人がお互いのことを学ぶ必要があるし、より良いコミュニティを作るためには日本の側からも学んで欲しい。
- ・朝から働いている人が日本語を学べる環境を作ることも必要。
- ・日本人と一緒に学ぶ機会を作るための社会福祉協議会との連携はぜひやりたい。ただ、やり方がわからないので、（日本側から）やっていただきたい。
- ・日本社会に貢献できる人材になるためには、子どものころから日本社会のことをしっかり学ぶ必要がある。
- ・ボランティア活動は楽ではない。自分が子どものころ、祖父母の活動を手伝いその効果を目で見てきたからこそ、自信を持ってやれる。子どものころから一緒にやることが大事。
- ・外国人の人たちが、日本人と外国人の間に線を引かないように子どものころから教育していることを知って、伝えていきたいと思った。
- ・日本人という壁を取り払って、人間として交流することが必要だと思った。人間としての付き合いを考えていく時代にならないと、みんなで共存して生きていくのは大変だと思う。
- ・身近なところでは共生を意識しない人の方が多いと感じる。直接コミュニケーションをとることが大事だとつくづく感じた。そうした機会が積み重なることで少しずつ広がっていくと思う。
- ・コミュニティに入っていない外国人にとっては、暮らしているところで（必要な窓口などに）連絡してくれたり、ケアしてくれたりする繋がりを作っていくことがとても大事だと感じている。
- ・民生委員として、外国人の子どものことを学ぶこと、支援をしていくことが大切だろうと思う。社会福祉協議会でも機会があれば児童の支援の側面から話をしたいと思う。

(3) 事務局から、外国人コミュニティと区との関わりについて報告を受けた。

(4) その他

事務局から、第一部会からの意見を受けて「新宿生活スタートガイド」の動画を紹介するホームページの各チャプタータイトルにひらがなを追加したほか、外国語のページを作成した旨報告を受けた。

(5) 次回の日程

事務局から次回会議の日程（2021年10月開催予定）について、説明を受けた。

3 閉会